

Ryo Kato, Tatsushi Okuda, Takayuki Tsuruga, "Sectoral inflation persistence, market concentration, and imperfect common knowledge" *Journal of Economic Behavior and Organization*, forthcoming.

#### 日本語要約

部門別のインフレ動学の研究では、部門間での大きなばらつきが存在が強調されてきた。本稿は米国の生産者価格データを用いて、部門別のインフレの慣性が市場集中度と負の相関関係にあることを示したうえで、この関係が標準的な独占的競争モデルでは説明困難であることを論じる。このようなインフレ動学を説明するため、本稿では、Melitz and Ottaviano (2008)による独占的競争モデルと不完全共有知識のモデルを融合する。モデルでは、企業間の価格設定の補完性を通じて、市場集中度が低まると価格設定の補完性が高まる。価格設定の補完性はインフレの慣性を高めることから、インフレ慣性と市場集中度の間に観察される負の相関関係が再現できることが示される。

(作成) 菊池淳一・敦賀貴之